

科目名称	動物介在教育演習2		
英語名称	Animal Assisted Education Seminar 2		
担当教員	濱野 佐代子		
授業コード	BJ277	学年	1
学期	後期	単位	1.0
目的	<p>(B) 自己実現能力 動物介在教育学で学んだ基礎知識を基に、動物介在教育について考える力を身につけることを目的とする。動物介在教育についての本や論文を読み、実践の事例を紹介することによって、グループで話し考えを深めていく。具体的には、教育現場や保育現場や家庭における動物飼育の実態を取り上げて考察を行うことによって、受講者は自らの動物介在教育について考える機会を得る。さらに、受講者が動物介在教育学の中のテーマをみつけて調べて考察を加え、発表を行う。このことによって、将来、保育者や教育者となったときに、動物を介在させた教育を行う際の応用力を養うことを目的として本講義を行う。</p>		
到達目標	<p>幼児、児童の教育を行う上で、動物を介在させた教育を行うことができるようになることは、現在の多様な教育や保育現場に出た際に強みとなるだろう。そこで、教育や保育現場に取り入れることができる動物介在教育学の応用力を身につけることを本講義の目標とする。</p>		
計画・内容	<ol style="list-style-type: none"> 1) ガイダンス 2) 人と動物の関係に関する論文購読1 3) 人と動物の関係に関する論文購読2 4) 動物介在教育(事例1)学校・園内飼育動物 5) 動物介在教育(事例2)命のたいせつさの教育 6) 動物介在教育(事例3)盲導犬 7) 動物介在教育(事例4)海外の動物介在教育1 8) 動物介在教育(事例5)海外の動物介在教育2 9) テーマの選択 10) テーマの調査 11) 発表と討論1 12) 発表と討論2 13) 発表と討論3 14) 発表と討論4 15) まとめ 		
授業の進め方	<p>基本的に講義と参加形式で行う。参考資料を適宜配布する。また、パワーポイント、DVDを使用しながら、講義を進める。授業内レポート、宿題レポートを課す場合もある。</p>		
教科書・参考書	<p>参考書 繁多進編.(2009).子育て支援に生きる心理学.新曜社.</p>		
成績評価方法	<p>テストとレポート、発表等で、総合的に判断する</p>		
留意事項	<p>本受講者は、必ず、動物介在教育学Iと、動物介在教育学II、動物介在教育学演習Iを受講していることとする。</p>		